

第44回 Kyoto演劇フェスティバル

2023年2月11日(土)⇒19日(日)

京都府立文化芸術会館

市バス府立医大病院前下車 TEL.075-222-1046



【主催】京都府、指定管理者 創、Kyoto演劇フェスティバル実行委員会 【協力】京都児童青少年演劇協会、京都人形劇センター

2月11日(土)	2月12日(日)	2月15日(水)	2月18日(土)	2月19日(日)
創造集団アノニム [13:00]	ひとり人形劇まる [11:30]	シニア劇団 星組 [18:30]	朗読 彩の会 [13:00]	児童劇団やまびこ座 [11:30]
劇団そら [19:00]	みかんの木文庫 [14:00]	各プログラムの概要・上演作品の詳細、各種料金等は中面等をご覧ください。 各団体の上演内容や出演者につきましては、変更となる場合があります。 あらかじめご了承ください。	京都放送劇団 [16:00]	ごちゃまぜMINIシアターズ [14:00]
次はオイラも出演しタイ...	ちゃんばらCLUB喜怒哀楽 [16:00]		劇団ひいふうみい [19:00]	宇治っ子朗読劇団☆Genji [16:00]

第44回 Kyoto演劇フェスティバル

上演プログラム
2023年
2月11日[土]～19日[日]

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、各公演ごとに観客の完全入替制で実施いたします！

入場料 全自由席 未就学児は 無料です。 12/15[木] 10時より 前売開始	一回券	一般 前売1,000円 当日1,200円 高校生以下 前売 600円 当日 800円	
	回数券 前売のみ	一般 前売2,000円 高校生以下 前売1,200円	※中学生・高校生は 入場時に学生証の 提示が必要です。 演フェス全プログラムから3公演をお選びいただき、ご購入 ご鑑賞いただけます。※回数券は文化芸術会館のみ取扱い

ご注意 | ・会場の収容人数の関係上、取扱いチケット枚数に制限があります。
・公演内容・演目等は変更となる場合があります。

チケット取扱い 各公演ごとに該当する公演のチケットが必要となります。

- ◎各参加団体 各上演団体の「一回券」を取扱っています。
- ◎京都府立文化芸術会館窓口 ☎075-222-1046 (窓口購入のみ)
全団体のチケット(一回券・回数券)を取扱っています。(12/28～1/4は休館日です。)
- ◎ローソンチケット 全てのホール公演の「一回券」のみ取扱っています。
(Lコード52190・<https://l-tike.com/>)
ローソン/ミニストップ各店内のLoppiでお受け取り・直接購入

2月11日[土]

ホール[定員400名] 13:00～14:00 [12:30開場]

アノニムは今年で38年目。今年
最初の舞台に、乱歩先生もお気に
入り(?)お勢が登場!

病弱な旦那の格太郎は子供の
為に妻の不倫にも目を瞑り、今日も
寂しく盆栽いじり。ところが子供達と
隠れんぼをすることになり、押入れの
長持に入った格太郎。そこで思わぬ
ことが…。何も知らないお勢。鏡の
前に立ち、さて帯を解きはじめるので
あった。

創造集団アノニム
「お勢・登場」



三階和室[定員60名] 14:00～14:30 [13:30開場]

みかんの本文庫は、1989年に
福知山市の郊外で開いた、小さな
家庭文庫です。「子どもたちが、
たくさんの本とであえるように」
と、文庫活動を続けています。
読み聞かせや語りだけでなく、
本からとびだした人形劇も届けて
います。
今回は、絵本・紙芝居・人形劇など、
小さな作品をまとめてみました。
お楽しみください。

みかんの本文庫
「とびだせ おはなし」



ホール[定員400名] 19:00～20:00 [18:30開場]

劇団そら
「ひとり足りませんが?」



山奥の秘湯が売りのリゾートホ
テルで起こった事件。
部屋に血痕を残したまま姿を消した
宿泊客。
目に見えるものが真実とは限らない。
何が嘘で、何が真実か?
この物語はサスペンスか?コメディか?
映画製作で明け暮れた一年を経て
「劇団そら」久々の舞台。
いつものメンバーに新しい顔も
加わって本日発進!

ホール[定員400名] 16:00～17:00 [15:30開場]

ちゃんばらCLUB喜怒哀楽
「大正 浅草ラブソディ」



俠客一家の親分と娘がひょんな
ことから、足抜けした遊女の面倒を
見ることに。親分の妻も、更に格下の
店に売り飛ばされそうになっていた
遊女たちに、金の返済には「これから
は芸を売り物に!」と一座を組んで
芝居をさせることにした。
帝大の書生の作・演出で「新しい
演劇」づくりに巻き込まれていく
遊女たちや任侠一家の面々。どう
なりますことやら

公募公演プログラムについて



関西全域から集った団体が、
日頃の活動成果を多彩な内容で
披露します。
常に進化を続けている、
演フェスを屋台骨を支える
代表プログラムです。

2月15日[水]

ホール[定員400名] 18:30～19:30 [18:00開場]

シニア劇団星組
「きらきらひかる
この世の星よ」



シニア劇団星組は2007年に結成
され今年15年目を迎える。指導・
演出は細見佳代。個人のエピソード
を元に創作を行ってきた。
劇団員の平均年齢は68歳。「記
憶力に自信がなくなってきた、いつ
までできるだろうか」という、そんな
老いにまつわる不安と希望を、
スペインの映画『皺』から着想を得て
2019年に創作・発表した作品の
改訂版。

Kyoto演劇フェスティバルについて

全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。

しかし、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大にともない、第42回演フェスにつきましては、公募公演プログラムは休止し、特別企画(U30支援プログラムと「あしたの森のチョコ(2021年版)」)のみの実施となりましたが、創造活動や表現活動は決して「不要不急」のものではなく、日々の生活を豊かにしてくれる大切な要素であるという認識のもと、第43回演フェスでは感染予防と創造活動・表現活動を両立させた取り組み・試みを行うなど、第44回演フェスにつきましても、様々なプログラムを継続・発展させていきたいと考えております。

12日[日]と19日[日]はお子さまも一緒に！

2月12日[日]と19日[日]は少し開演時間を早めて、お子さまも一緒に家族で楽しめるプログラムをご用意いたしました！
人形劇だけでなく、世代を越えて楽しめる芝居・殺陣(チャンバラ)。そして子どもたちで挑む朗読劇など、演フェスを象徴する2日間です。乞うご期待！

Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団を対象に、日頃の活動成果を披露する場として、昭和54年(1979年)に産声をあげて以降、休むことなく開催を続け、現在にいたるまで、地域で活動している団体の披露紹介だけでなく、



合同創作劇「百年のあくび」



創造音楽劇「あしたの森のチョコ」

2月19日[日]

ホール[定員400名] 11:30～12:15 [11:00開場]

児童劇団やまびこ座 「三びきのガラヤン」 & 和太鼓ライブ



今年、創立72年を迎えるやまびこ座がお送りするのは、何と人形劇と和太鼓!?

普段は子どもも大人も一緒になって舞台劇を中心に取り組んでいます。実は同じように人形劇もやっちゃうし、和太鼓班もあったりします。これまで自主公演などではおなじみの和太鼓班が、ついに演劇フェスティバルにも登場します。

今年はちょっと違った児童劇団やまびこ座の一面をぜひご覧ください。

2月18日[土]

ホール[定員400名] 13:00～13:50 [12:30開場]

修行中の僧、安珍に心を奪われた清姫。必ず迎えに来ると言う。約束を守らなかった為、狂おしく、安珍を道成寺の鐘の中へ追い詰める。その伝説を、朗読劇と踊りで。

後半は、その何十年後「本当はねえ」と、遠縁の初姫に語り始める清姫。内気な初姫が、変化していくなど、意外な展開を創作劇で表現。

初演より、進化した今回の作品です。

朗読彩の会 「安珍清姫伝説の まことは？」



三階和室[定員60名] 14:00～15:00 [13:30開場]

「人形劇ワークショップ こずえ塾」で腕を磨いた ごちゃまぜメンバーが楽しい人形劇を持ってやってきました。
今回は6名による5作品、すべて創作オリジナルのショートストーリーです。

オオカミ、ウサギ、ブタ、おばあちゃん等々かわいいバクバク人形達が続々登場します。

人形達がいきいきと喋りだす面白さをお楽しみください。

ごちゃまぜMINIシアターズ 「ごちゃまぜMINIシアター」



三階和室[定員60名] 16:00～17:00 [15:30開場]

京都放送劇団 「いろいろ小町」



みなさん、小野小町ってご存知ですか?「花の色は 移りにけりないたづらに わが身世にふる なかめせしに」の歌で有名な女性です。クレオパトラ・楊貴妃と並び世界三大美女の一人とされています。

今回は①小町の伝説を京ことばで。②菊池寛の戯曲をちょっとコミカルに。③能「通小町」の世界を現代語訳でわかりやすく。以上の三部作でお届けします。いつもと違って、動きをつけた語り劇に仕上げました。小野小町の世界をどうぞお楽しみください。

ホール[定員400名] 16:00～17:00 [15:30開場]

宇治っ子朗読劇団☆Genji 源氏物語オリジナル朗読劇 「夢まくらに鳴くちどり」



宇治に関わりの深い古典「源氏物語」を未来に伝えていくため、宇治市文化センターで活動し11期目を迎えます。今年度は小学生～高校生の17名が源氏物語を題材とした朗読劇を楽しく学んでいます。

今回の物語は、光源氏の子や孫の時代の話で舞台は宇治。二人の貴公子と二人の姫君との恋物語です。

華やかな衣装で演じる王朝物語をお楽しみください!

ホール[定員400名] 19:00～20:00 [18:30開場]

元禄十六年、大坂曾根崎で起った激しい愛の物語。叔父の店で真面目に奉公する徳兵衛と天満屋に身を置く遊女お初。

出会い、恋に落ち、将来を誓い合った二人だが、次々に立ちはたかる困難。叔父からの縁談。信頼していた九平次の実切。拳句は罪人扱い。

この世の不条理、理不尽に巻き込まれていく二人の愛の結末とは…心揺さぶる近松の世界へ

劇団ひいふうみい ひいふうみい語りの世界 「曾根崎心中」より



会館主催事業のご案内

文化芸術会館では、Kyoto演劇フェスティバル以外にも様々な舞台公演を行っております。



文楽京都公演2023

2023年3月17日(金)・18日(土)

プログラムA「冥途の飛脚」ほか

プログラムB「菅原伝授手習鑑」ほか

詳細はお問い合わせください。

【京都府立文化芸術会館について】

京都府立文化芸術会館は、京都府開庁100年記念事業として1970年に開館しました。

その後今日に至るまで、京都における文化芸術活動の中核施設として、演劇・古典芸能・舞踊・音楽等の上演に適したホールや、美術・工芸等の作品を展示するための展示室のほか、サークルでの勉強会や研究会でご利用いただける和室、会議室、録音室を備えるなど、舞台芸術をはじめ、さまざまな文化芸術の創造活動に対応できる複合施設として、非常に多彩なジャンルと幅広い年代の皆様にご利用いただいております。



客席と舞台の一体感に定評があるホール。過去に様々な名演が繰り広げられました。



美術・工芸等のグループ展に適した展示室



会議だけでなく落語・狂言などの公演に適した和室

ごあいさつ



京都府知事
西脇 隆俊

「Kyoto演劇フェスティバル」は、関西全域の劇団・人形劇団を対象に、日頃の活動成果を競い合う研さん・技術向上の場を提供し、府民の皆様に質の高い演劇公演を楽しんでいただく機会を提供する地域密着型の演劇祭として開催しており、このたび44回目を迎えます。

これまで、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの演劇活動が制約を余儀なくされてきました。本フェスティバルも、2年前には公募公演が中止になるなど、大きな影響を受けましたが、今回は、様々な工夫や挑戦を重ねながら、感染予防と創造活動・表現活動を両立

する新しい形で実施します。

多彩なプログラムにより、子どもから大人まで世代を越えて参加でき、楽しめる内容となっております。出演者の皆様が日頃の研さんの成果を存分に発揮され、観客の皆様と大きな感動を分かち合ってくださいことを期待しております。

来年3月には、いよいよ文化庁の京都移転が実現します。京都府としても、文化庁との連携を一層強め、今後とも、演劇をはじめとする様々な文化芸術の振興に積極的に取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

最後に、本フェスティバルの開催に向けて御尽力いただきました実行委員会の皆様はじめ、関係の皆様の熱意と御努力に深く感謝申し上げます。



Kyoto演劇フェスティバル実行委員会
委員長

椋平 淳

大勢の人々が一堂に会することで、祭は活気が増します。コロナ禍3年目のこの一年、京都の三大祭では、7月の祇園祭と10月の時代祭で巡行や行列が3年ぶりに復活しました。華麗かつ荘厳なパジェントに向けて、沿道のあちこちから歓声が飛び交いました。以前は見慣れていたその光景に、京都の町並みは久しぶりに安堵している様子でした。

一方、今回の第44回Kyoto演劇フェスティバルは、前回2年ぶりに復活させた公募部門をさらに拡大し、計5日間の日程で開催します。コロナ禍以前のフルバージョンにはまだ及びません。それでも、さまざまな苦難が押し寄せる日常の中で演劇活動をなんとか維持している、あるいはなんとか継続しようと心を砕いている劇団は、各地に多数存在します。その中から勇んで声を上げ、そして選抜された12団体が、2月の本番に集結します。

もちろん、会場に集うのは劇団だけではなく、いまだ心に秘めた声援が推奨されるご時世ですが、舞台に向けて熱い視線を送ってくださる観客の皆さんのご来場で、演フェスの活気は増大します。皆さんの生き生きとした笑顔が、演フェスの、また拠点である京都府立文化芸術会館の、さらにはすべての演劇関係者にとっての、大いなるエネルギーの源です。

今回もまた、皆さんとの再会を心待ちにしています。

プログラム		入場料金	備 考	前売券の取扱い
一回券	一般	前売1,000円(当日1,200円)	※演フェス全プログラムより1公演をお選びいただき、ご購入・ご鑑賞いただけます。(各公演ごとに完全入替制) ※なお、和室公演につきましては収容人数の関係上、取扱い枚数に限りがあります。	◎各参加団体 各上演団体の「一回券」を取扱っています。 ◎ローンチケット ※ホール一回券のみ ①ローンまたはミニストップ店内のLoppiで「ローチケ」をタッチ。 ②「今すぐチケットを探して買う」をタッチ。 ③「フリーワードで探す」でLコード(52190)を入力して検索。 ④興行情報を確認して、チケットの日時・種類・枚数等を入力。 最後まで手続きが済むと、申込券が出力されますので、30分以内にレジカウンターで代金をお支払いください。
	高校生以下	前売 600円(当日 800円) ※中学生・高校生は入場時に学生証の提示要。		
回数券	一般	前売2,000円	※文化芸術会館のみ取扱い ※演フェス全プログラムから3公演をお選びいただき、ご購入・ご鑑賞いただけます。(各公演ごとに完全入替制) ※なお、和室公演につきましては収容人数の関係上、取扱い枚数に限りがあります。	◎京都府立文化芸術会館窓口 全チケット(一回券・回数券)を取扱っています。 TEL.075(222)1046 ※窓口購入のみ
	高校生以下	前売1,200円 ※中学生・高校生は入場時に学生証の提示要。		

前売開始 2022年12月15日[木]10時より

入場料金

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、各公演ごとに観客の完全入替制で実施いたします！

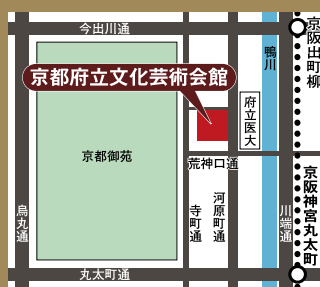
実行委員会

第44回Kyoto演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われております。

委員長	椋平 淳	(大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
委員	岡田 尚文	(創造集団アノニム)
	岡田 路子	(京都芸術大学舞台芸術学科専任講師・エイチエムビー・シアターカンパニー)
	木原アルミ	(バーカース)
	沢 大洋	(日本学生演劇プラットフォーム 代表理事)
	高杉 征司	(俳優・演出家)
	田辺 剛	(劇作家・演出家/下鴨車窓)
	中田 達幸	(俳優/造劇体)
	小林 洋介	(人形劇団京芸 事務局長)
	中村さとし	(京都児童青少年演劇協会)
	森井 有子	()
	河合 千重	(京都人形劇センター)
	中むら 昌タカ	()
	大石 正子	(京都府 文化スポーツ部 文化芸術課 課長)
	雨宮 章	(京都府立文化芸術会館 館長)

京都府立文化芸術会館 〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046(受付時間 9時~18時) [公式HP]http://www.bungei.jp/



- 【JR京都駅から】市バス4系統・17系統・205系統
【四条河原町から】市バス3系統・4系統・17系統・205系統
- 【三条京阪から】市バス37系統・59系統
【京都バス】21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅経由
※いずれも「府立医大病院前」バス停下車すぐ
- 京阪電車/「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
- ※駐車スペース(有料150円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。